

金山町議会だより

第229号

令和7年5月8日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔3月定例会 会期3月7日～13日〕

- ・令和7年度当初予算・議案審議等…2～7
- ・議案等審議結果一覧・人事……………8
- ・一般質問 5人が登壇……………9～13

かねやま小学校入学式(4月7日) 新入児童10名
総勢34名で かねやま小学校 スタート!!

前年比3億88万円(8.8%増)

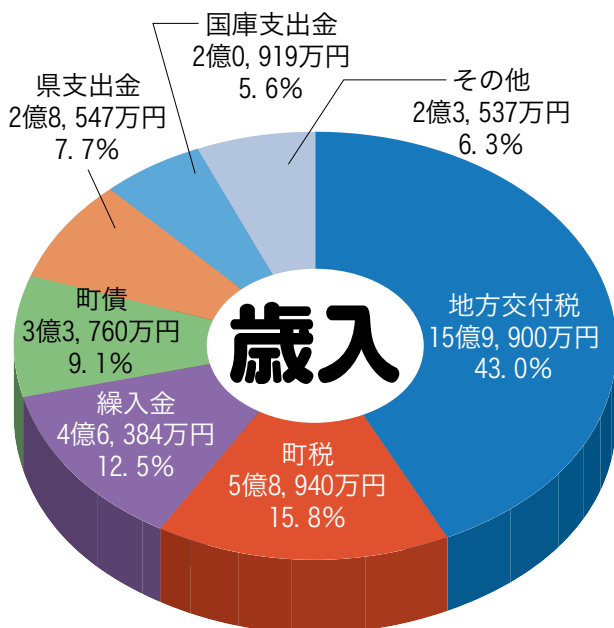
87万円を可決

3月 定例会

3月定例会は、3月7日から13日にかけて開催され、令和7年度当初予算、令和6年度補正予算、条例の改正、人事など21議案と議員提出議案4件が提案され原案の通り可決されました。
一般質問は5人の議員により行われました。



「全員起立」で可決した令和7年度一般会計予算



前年度と比べ、町税は全体で5億8,940万円(1.2%増)町民税の

**地方交付税大幅増
基金取り崩し微増**

また、特別会計予算は11億1,442万円(前年度比0.4%減)となりました。

令和7年度一般会計予算は37億1,987万円で、前年度と比較して3億88万円(前年度比8.8%増)となりました。

一般会計の概要

個人所得割の増額によるものです。
普通地方交付税は、国・県の資料等参考に令和2年国勢調査の数値を用いて前年度比5.0%増の15億9,990万円を見込みました。
町債(町の借金は、投資的事業等分として3億3,760万円(18.2%増)、財源補てん的な基金の取崩しは4億6,384万円(0.7%増)を計上しました。



令和7年度一般会計 37億1,9

令和7年度 当初予算額(会計別)

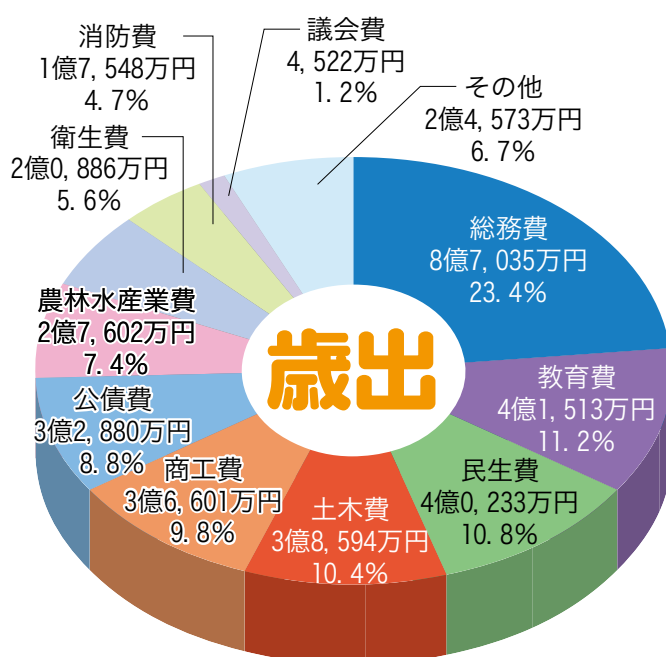
会 計 名			令和7年度予算	令和6年度予算	比較増減
一 般 会 計			37億1,987万円	34億1,899万円	3億0,088万円
特別会計	国民健康保険(事業勘定)		2億8,014万円	2億8,783万円	△769万円
	国民健康保険(施設勘定)		1億6,951万円	1億7,539万円	△588万円
	介護保険		6億1,069万円	6億0,205万円	864万円
	後期高齢者医療		5,408万円	5,352万円	56万円
公営企業会計	簡易水道事業	収益的收入	1億8,113万円	1億6,662万円	1,451万円
		収益の支出	1億9,087万円	1億7,636万円	1,451万円
		資本的收入	1億1,723万円	1億4,867万円	△3,144万円
		資本の支出	1億2,256万円	1億5,446万円	△3,190万円
	下水道事業	収益的收入	1億6,636万円	1億4,445万円	2,191万円
		収益の支出	1億6,102万円	1億4,650万円	1,452万円
		資本的收入	3,266万円	3,971万円	△705万円
		資本の支出	5,738万円	6,565万円	△827万円

(田沢地区農業集落排水事業、各地区合併処理浄化槽事業及び川口地区公共下水道事業は下水道事業となりました。)

主要な事業

(単位:千円)

事業名	事業費
乗合タクシー運行事業	39,161
かねやま小学校環境整備事業	43,500
合併70周年記念事業	8,360
高齢者交通安全対策事業(免許証返納)	600
公式LINE事業	1,056
高齢者世帯等エアコン設置事業	1,600
害虫駆除事業	1,080
敬老事業	5,466
緊急通報システム事業	2,218
中山間地域等直接支払事業	10,588
多面的機能支払推進事業	6,626
プレミアム付(25%)商品券発行事業	43,722
有害鳥獣対策事業	9,829



令和7年度予算 町長の提案理由

第五次総合計画に基づく様々な施策を着実に実行するための令和7年度当初予算案を策定したところであり、総合計画における重点プロジェクトに沿って申し上げます。

①「産業振興と雇用拡大」では、農業については担い手確保、農産物の生産振興、雇用の場づくりの特定地域づくり事業協同組合への支援などに引き続き取り組んで参ります。

②「移住・定住・交流」については、川口高校の存続に力を入れて参ります。移住・定住に向けた様々な事業支援、只見線利活用事業、観光事業を進め、JR会津川口駅等の具体的な活用に向けた施策の検討をはじめます。

③「みんなで子育て応援」については、結婚から子育てまでの各種支援に引き続き取り組み「学びの18年事業」により保育料・給食費無料や教育家庭支援事業等行い保育所、小中学校、県立川口高等学校の幼児、児童、生徒の支援を図って参ります。

④「健康づくりと支え合い」については、住民健診、人間ドック、各種予防接種の受診率を高め、保健師による訪問、相談、管理栄養士による食生活改善により町民の健康維持に努めて参ります。支え合いの中でも特に除排雪の支援が大変重要です。多くの支援事業を進め、より高齢者等の除雪支援を進めて参ります。今年は、沼沢・川口・本名・横田の4カ村が合併して70周年を迎えます。皆さまと歴史的な節目を祝いたいと考えております。



町長提案理由の説明

「自然の恵みと笑顔あふれる かねやま」を目指して ～思いやり 支えあいのまち～

主 な 事 業

(単位：千円)

【産業振興と雇用拡大プロジェクト】

○農業を担う者育成支援事業	2,953
○地域特産農産物生産振興事業	5,189
○水産資源安定供給事業	1,666
○おもてなし事業	6,000
○特定地域づくり事業協同組合支援事業	19,000
○地域おこし協力隊事業	33,510

【みんなで子育て応援プロジェクト】

○妊婦・出産・育児支援事業	7,440
○乳幼児・子どもの医療費助成事業	3,221
○保育料無料化事業	3,000
○複式学級緩和及び特別支援事業	22,900
○教育家庭支援事業 (給食、入学、修学旅行、教材)	7,022

【移住・定住・交流プロジェクト】

○川口高校地域みらい留学事業	24,883
○定住促進事業	23,470
○ふるさと情報発信事業	7,989
○地域観光プロデュース事業(新規)	6,000
○只見線利活用促進事業	21,493
○八十里越街道開通PR事業	7,550

【健康づくりと支えあいプロジェクト】

○住民健診事業	7,236
○人間ドック事業	3,269
○予防接種事業(子ども、高齢者)	12,888
○妊娠・出産・育児支援事業	7,440
○除雪対策事業	19,021
○地域コミュニティ活動応援事業(新規)	3,400

●当初予算（議案審議）

一般会計…歳入

地方交付税大幅増について

問 地方交付税の普通地方交付税14億9,400万円。前年比7,800万円の増。増額の要因は。

答 総務課長 端的には税収の増によります。所得税、酒税、消費税、地方法人税の一定割合が普通交付税として交付されるルールになっています。算定においては、確かな数値で確実に見込める金額で算定しております。

基金の運用について

問 基金利子収入152万円。基金運用の方法を変えた成果は。

答 出納室長 財政調整基金、額面で2億円、公共施設整備基金、額面で1億円の国庫債券(国債)を購入しております。利

率は年0・6%〜0・7%で非常にリスクが少なく、とても安定的に運用できるので購入しました。

施設の利活用について

問 農業実習館使用料1千円。若者交流センター使用料3万3千円。利活用が進んでいるように見えない。取り壊しを含め決断が必要な時期かと考えるが。

答 商工観光課長 十分な活用は進んでないが、一部で活用の話があり、すぐに取り壊しは考えていない。

答 副町長 若者交流センターについては地域振興検討会で検討した経過があり、民間の活力等を利用して活用を図って行くとの結果でしたがうまくいきませんでした。災害時の避難所等になる可能性もあります。農業実習館は利活用の話もあり

場合によっては譲渡するなど検討して参ります。



若者交流センター(太郎布地区)

上横田共同住宅の活用について

問 使用料収入14万5千円。どの様な使用をするのか。

答 保健福祉課長 夏期は移住者向け体験住宅。冬期間は高齢者共同住宅として利用しています。町監査委員から「柔軟で有効的な利活用を」との意見をいただきました。

が、今冬、1名の高齢者住宅に合致する方が入居されたので、しばらくはこの形で続ける考えです。

一般会計…歳出

公式LINEについて

問 公式LINE委託料106万円。現在の加入者数は。

答 企画課長 2月末の加入者数293人。

問 運用にあたり情報の充実をどの様に図っているのか。

答 企画課長 始まったばかりでこれまでは、豪雪、イベント、火災情報等でした。防災、観光、有害鳥獣など要望を聞きながら範囲を広げて行きます。



多目的共同住宅(上横田地区)

会津バス大芦線について

問 バス運行負担金850万円。町内での乗車人数は。

答 総務課長 年間を通じて会津バスから報告があります。令和5年度は約5,500人程度です。

只見線利活用推進について

問 只見線利活用推進費2,149万円。JRは経営の合理化を益々進めている中、町は営利企業であるJR東日本に対して、どのように要望活動を進めるのか。

答 企画課長 運行についてはJRが行っており、ダイヤ改正、特別列車運行等会津総合開発協議会などの団体で要望を行ってきました。今後福島県、沿線町村で要望活動が続けていきます。

問 なかなか要望通りにいかないのでは。JR東日本の株式を購入して経営に参画し、株主として発言していくという考え

もあると思うが。

答 町長 現在、自治体での株式取得の考えはありません。

会津川口駅窓口業務について

問 委託料360万円。窓口業務の取り扱い数は。

答 企画課長 令和6年4月1日から開始し2月末で切符の販売件数は8,871件です。

問 売上金額。売上の何%が町に入るのか。

答 企画課長 800万円を超え、定期券が1・8%、切符が5%です。



JR切符販売窓口

若者定住懇談会について

問 懇談会委員報酬4万3千円。新年度、何か見直しとかを考えているのか。

答 企画課長 3月に懇談会を開催し、条例改正について諮問する予定になっています。

移住後の支援について

問 移住支援センター委託料309万円。移住後の支援について。

答 企画課長 支援センターでの困りごと相談、移住交流会等行っています。町・センターが一緒にサポーター体制を整えたいと考えております。

WiFi環境整備について

問 工事請負費1,000万円。環境整備の内容は。

答 総務課長 基地局40ヶ所の整備は一旦完了し

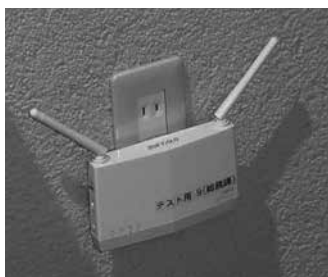
ました。基地局ごとに電波状況を調査し改善を行います。

問 家の中で利用する時は、宅内の電波がないと困る。早急に進めていたきたい。

答 総務課長 室内での利用は基本的に中継器を設置し電波を増幅させないと利用が難しいです。町では2週間程度テスト利用で中継器の貸出を行っています。

問 早期利用を図るため室内用中継器の購入補助の考えはないか。

答 総務課長 通信料を無料で実施します。中継器の購入補助は今のところ考えていません。



貸出し中の中継器

区長報償費の増額について

問 均等割りが9万円から15万円に増額された理由は。

答 総務課長 区長業務の増加、各種委員等報酬、町職員の人件費など各種すべての経費が増額になっており、今回増額となります。

友好都市との交流事業について

問 合併70周年記念事業友好都市ツアー80万円。内容は。

答 企画課長 埼玉県鴻巣市・羽生市は友好都市ですが、市民・町民の交流が減っているように感じています。町民約20人を募集しゆかりの地などを見学を企画しています。

ゴミの有料化について

問 新しいゴミ焼却施設（会津若松市）の稼働にあたり、構成市町村に対してごみ減量の目標が定められている。できない場合、対策としてごみの有

料化の考えをお持ちか。
答 保健福祉課長 現在考えはありません。



令和8年3月稼働予定

健康ポイントについて

問 健康ポイント報償費20万円。内容は。

答 保健福祉課長 登録した団体が様々な健康づくり事業を行い、ポイントを付与し商品券と交換できる事業で25団体、約300名の町民の方に参加いただいています。

問 総合検診受診者もポイント対象にならないか。
答 保健福祉課長 研究させていたいただきたい。

各種健診の受診率向上について

問 特定健診、各種がん検診委託料で462万円。受診率をいかに上げていくのか。
答 保健福祉課長 令和6年度総合検診は677人に対し受診者455人（受診率67%）。今年度は、仕事などで集団受診できなかった方に対し、病院などでの施設検査を進めていきます。

中川地区農村公園整備事業について

問 整備請負工事費5,000万円。整備内容と整備後の管理委託先は。

答 農林課長 公園の大型遊具はエンドレススターザンロープ、とんがり屋根キャビン、コンビブランコなどと幼児向けのものも設置予定です。管理先は（株）会津かねやまを想定しています。

案内看板設置について

問 国道289号に看板設置費200万円。場所

と内容は。

答 商工観光課長 八十里越開通に向けた取り組で叶津集落と国道252号のぶつかる付近に幅1・5m、高さ3・5m位で計画しています。



早ければ令和8年秋暫定開通

プレミアム付商品券発行事業

問 委託料4,372万円。プレミアム率25%。上期下期合計2億円の発行。目的は商工業者への支援、応援だと思っている。商工業者自身は得た利益をサービスに投資していくのが事業の真の目的と思うが町の考えは。

問 商工観光課長 商工業者の利益が上がり元気な経営ができるものと思っており、色々な地域振興に向けた取り組みを願っています。

観光タクシー運行事業について

問 事業費200万円。新年度の利用方法は。

答 商工観光課長 只見線利用者が対象で、町内3コースを作っており4時間で2千円の負担で利用できます。

問 インバウンド向けの予約方法の工夫は。

答 商工観光課長 只見線、海外からの人気も高まりつつあります。研究させていただきます。

スキー場圧雪車購入について

問 圧雪車更新に6,950万円。スキー場が町内にある意義、残したい気持ちには非常に良く分かる。多額な支出な訳ですから計画的に経営してい



手前圧雪車を更新

ただきたい。

答 商工観光課長 機器の修繕改修については、専門家に点検頂き意見を聞き進めています。

問 圧雪車の更新は必要。いかに安く購入するか努力をお聞きしたい。

答 町長 町で購入する物品、これは最小の経費で最大の効果を得るという基本姿勢で臨んで行きます。

外国語指導助手について

問 1名分の予算。教育長は英語教育に力を入れたいとの考えの中でなぜ1名分の計上か。

答 教育長 新年度から

小学校が統合になり、中学校と2校に割り振りします。実質増えるので1名で対応できる考えです。

問 英語教育に力を入れたいのであれば各校1名ずつとの考えもできる。語学学習は頻度を高めることが一番効果的と考え

答 教育長 1年間1名でやってみて活用について学校長と相談して考えたいと思います。

公営企業会計

簡易水道事業

問 定期水質検査1,014万円。PFASの定期的な検査をするのか。

答 建設課長 年1回の検査を考えています。

(PFAS)ピーファスとは有機フッ素化合物という化学物質の総称です。環境中で分解されにくく、体に蓄積されるため、健康への影響が懸念されています。水道水の安全性確保のため水質検査を実施します。

議会議員政治倫理審査会

(審査対象議員)

大竹一樹議員

(審査対象事由)

令和7年3月定例会

(3月7日~13日)を全

日欠席した。欠席理由が

正当な理由に相当する

か。が対象事由となった。

(審査会の設置)

金山町議会議員政治倫

理条例(※)による手続

きで審査会が設置され

た。

(第1回審査会)

3月25日審査会開催。

審査対象議員より、定例

会欠席理由の聞き取り及

び質疑を行った。

(審査会結果)

定例会を全日欠席した

ことは、正当性を欠いた

行為に該当する。

(審査会の意見)

「議長からの嚴重注意」

となりました。

(審査会の構成)

・委員長 安藤 雅朗

・副委員長 栗城康太郎

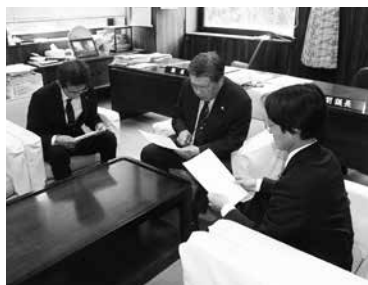
・委員 坂内 譲

・委員 加藤 夕子

※金山町議会議員政治倫理条例は令和6年3月に議員と町民との信頼関係を築く基盤とし、町民に対する説明責任を明確にすることを目的に制定されました。



審査会の様子



注意を受ける様子

議員との懇談会「おらほの議員としゃべってみませんかの会」開催しませんか

金山町議会議員は、令和5年12月に改選されました。

8名の議員の当選回数も1~2回と少なく、議員の平均年齢も56歳と比較的「フレッシュ」な議会となっています。

そこで ・高齢化率の高い町での町づくり、地域づくり ・若者が少ない町での町づくり、地域づくり

・持続可能な町づくり、地域づくり

・日頃考えている提案、アイデア などについて

地区の皆さんからのご意見、ご要望をお聞きするため、地区に出向いて「おらほの議員としゃべってみませんかの会」の開催を計画いたしました。今年度は行政区単位の開催となります。開催を希望される地区の行政区長は金山町議会事務局(tel 54-5341 fax 54-5345)までご連絡願います。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	大竹一樹	加藤賢享	安藤雅朗	加藤夕子	坂内譲	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一	
■第3回定例会（3月定例会） 令和7年3月7日～13日開催										
令和7年度金山町一般会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	
令和7年度金山町国民健康保険特別会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
令和7年度金山町介護保険特別会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
令和7年度金山町後期高齢者医療特別会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
令和7年度金山町簡易水道事業会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
令和7年度金山町下水道事業会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
金山町副町長の選任に関する同意について	同意	欠席	欠席	無記名投票による採決（賛成5票・反対0票）						
金山町農業委員の任命に関する同意について	同意	欠席	欠席	無記名投票による採決（賛成5票・反対0票）						
■陳情										
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出を求める陳情	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
■議員提出議案										
「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」の提出について	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
金山町議会委員会条例の一部改正について	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
金山町議会会議規則の一部改正について	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		
金山町議会傍聴規則の一部改正について	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○		



19
日
ま
で。
任
期
は
令
和
8
年
7
月

鈴木
（板
下・
新
任）
茂

◆金山町農業委員の任
命に同意しました。



4
年
間。
任
期
は
4
月
1
日
か
ら

栗田
（本
名・
再
任）
哲也

◆金山町副町長の選任
に同意しました。

■人 事

議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和7年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信(録画) について

各議員（質問者）ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議
での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和7年一般質問](#)



地区除雪組合による除雪作業
対象戸数が年々増えています(上横田地区)



あん どう まさ あき

安藤雅朗議員の

一般質問

豪雪対策について

持続可能な体制を構築していくー町長

問 住宅周りの除雪については、地区除雪組合や個人で請け負っている地区もあり、持続可能な除雪体制が求められている。本年の降雪状況及び地区除雪組合等の実状を鑑みて、今後どのように対応していくのか伺う。

答 町長 現在町が行っている除雪対策は、個人が行う排除雪設備の整備に対する補助事業、地区除雪組合が所有する除雪

機の購入に対する補助、そして社会福祉協議会が行っている高齢者及び母子世帯等除雪対策事業があります。

今後、今年と同様の豪雪が考えられますが、持続可能な体制を構築していくためには、降雪期どうしても集中してしまう作業を少しでも分散し負担を減らしていくことが必要だと思います。そ

のために、降雪前に社会福祉協議会と合同で、地区除雪組合との情報交換を実施し、まだ、連携していない組合についても現状や課題の共有を図ってまいりたいと思います。また、今回のような豪雪が予想される場合には、ボランティアセンターの開設による受入なども、その一つと考えます。

問① 安定した雇用により担い手を確保していくことが必要と考えるがいかがか。

答 町長 住宅周りの除雪については、今のままでいいのかという部分も併せて担当課等に検討させたいと思います。

問② 今般の豪雪と現在の体制でいいのか検証をすべきと考えるが。

議員のひと言
町の実情に合った除雪体制の構築を！

金山町の教育について

町に誇りを持つ児童を育成していくー教育長

問① 横田保育所休所について説明がされたが、子育て支援の充実を謳ってきた当町としての今後の対応は。

答 町長 令和7年度、川口保育所1カ所での体制については、保護者と数回の意見交換会を実施し、了解を得たところですが、その後に向けての

保護者との意見交換は、引き続き続けてまいります。

なお、横田保育所の再開や、川口保育所の充実にむけた保育士の確保は今後も続けてまいります。

問② 川口高校卒業生が金山町に残るまたは町と関わりを持続けるた

めの施策が必要と考えるが。

答 教育長 川口高校は3月1日現在で生徒数66名、うち町内出身者が8名、寮生が50名、町外の自宅生8名という状況です。生徒全体の4分の3を占める寮生について、卒業後も金山町との関係性を持続させていくこと

は、非常に重要な課題であると認識しています。卒業生との関わり合いの形には様々なものがあると思いますが、その関係がとぎれることなく継続していくよう、今後いろいろと手段を尽くしていきたいと考えております。



役場1階住民課窓口業務
より良い住民サービスを心掛けています

栗城康太郎議員の 一般質問



職員がその能力を十分に発揮できる勤務環境の保持について 健全な職場環境を整えることは、より良い住民サービスの提供に繋がる――町長

問① 本町のこれまでのハラスメント対策と現状について。

答 町長 ハラスメント対策については要綱を定めて対応しています。また、対応が必要な事案は生じていません。

問② カスタマーハラスメントの現状と今後について。

答 町長 カスタマーハ

ラスメントに該当するような事案は発生していませんものと認識しています

答 町長 ハラスメント対策については要綱を定めて対応しています。また、対応が必要な事案は生じていません。

問③ 職員のハラスメント防止に向けた条例制定

大規模災害時の業務継続計画について 能登半島地震を教訓に地域防災計画等の再確認を行っている――町長

問① 業務継続計画は公開されているか。発災時の対応マニュアルの作成予定はあるか。

答 町長 業務継続計画は町の内部業務の遂行確保計画と捉えていますので公開する対応はとっていません。また、発災時の対応マニュアルについては、大規模災害時には、大規模災害時においては、職員が被災し、参集することが困難、あ

など今後の取り組みについて。

答 町長 職員のハラスメント防止については、現在要綱で対応していますので改めて条例を制定する考えは持っていません。しかし健全な職場環境を整えることはより良い住民サービスの提供に繋がるものと考えていま

問④ 職員のメンタルヘルス対策について。

答 町長 職員の仕事による心理的な負担や職員

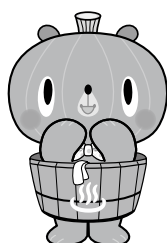
答 町長 職員のメンタルヘルス対策については、現在要綱で対応していますので改めて条例を制定する考えは持っていません。しかし健全な職場環境を整えることはより良い住民サービスの提供に繋がるものと考えていま

議員の一言
悩みを相談できる第三者窓口は絶対に必要

答 町長 能登半島地震により施設が分散されておき、各簡易水道施設の耐震化の大規模改修は今年度で完了する。

問③ 電気、水道等の各ライフライン施設の系統多元化などによる代替性の確保について。

答 町長 電気については、電気事業者においては系統多元化等の整備等が進められている。町の水





金山小・横田小合同スキー教室(1/23開催)
児童の体力向上、交流促進など冬期間の重要な施設です



ばん ない ゆずる
坂内 議員の

一般質問

金山町の商工業を軸にした産業の振興について

商工業者の活力ある経営をー町長

現在の商工会の取り組みを見ると、人員不足等によりなかなか会員とのコンタクトが出来ないことや、本来一番重要な経営・金融支援に対しての個別の時間が取れずにいる状況を心配しています。

問① 商工会に期待していることや最重視していることは。
答 町長 二つの役割が

あり一つは、指導団体としての役割です。町内の商工業者等に寄り添い、経営の改善を図るための指導・相談を行い、より積極的な経営に取り組みよう指導すること。もう一つは、地域総合経済団体としての役割です。

最重視していることは、町内商工業者等が活力ある経営を行うこと、また、継続して事業を行えるようにその役割を果たしているかどうかです。

問② 只見線の活性化には「会津川口駅」の開発整備が不可欠であると思います。地元商店街との協力については。

答 町長 現在は、所有者であるJRと駅舎の活用について、福島県を含めて話し合いを始めたところで、条件を整理して

いるところです。また、只見線の活性化には、川口駅前の活性化が必要と考え、空き店舗の活用方法などは、町単独ではなく、地元商店の意見を聞きながら進める考えで今後、整備構想をまとめたと思います。

問③ 夜間飲食の場・交流の場がないことによる若者流出も大きな課題

の一つであります。その一石になるようはじめた「おもてなし事業」の成果は。

答 町長 今年度始めた事業で、実績として宿泊業を営む事業者2者が活用しました。また、宿泊施設支援のほか飲食業店・小売店を新たに始める場合も支援できる事業です。

フェアリーランドかねやまスキー場の今後について

冬期間の観光資源として重要ー町長

スキー場も、奥只見国際スキー場のオープンから約50年が経とうとしています。昨今、南会津町での町営スキー場の閉鎖問題は他人事とは思えない、気になる話題です。

小さな町で抱えるスキー場への財政支援は、確かに町民の大きな負担になっているだろうと容易に

想像できません。
問① かねやまスキー場があることの存在意義を伺います。

答 町長 当町の観光資源の多くが、冬期間は閉鎖します。その中で、人を呼び込む重要な施設です。年間利用者は、約4,500人、町内の宿泊施設利用者が約450

人あり、町内経済の活性化にも繋がっており存在意義は大いにありと認識しています。

問② かねやまスキー場を今後どのようにしていくのかのビジョンを伺います。
答 町長 当面は、冬期間の誘客につなげる中核施設として運営を継続し

ていく考えですが、利用者的大幅な減少や大規模な修繕、施設の更新が生じた場合には、関係者と協議し、存続を含めて判断したいと思っています。

議員のひと言
雪も大切な資源
うまく活用していきましよう



耕作放棄地から菜の花畑へ
地域住民による景観整備(玉梨地区)

よこ た ま さ と し
横田正敏議員の

一般質問



安心・安全な生活環境づくりの強化を

地区除雪組合の負担を軽減するー町長

今季の降雪は、災害救助法が適用されるほどの豪雪となった。高齢者等の除排雪については、民生委員の日頃の見守りと町内業者、地区除雪組合、ボランティア団体等による懸命の努力により行われた。このことは、支え合い、助け合いの意識によるものであると思う。そこで伺います。

問① 地区除雪組合の組織維持に町としてどう取り組んでいくか。

答 町長

地区除雪組合に対する除雪機械の補助があります。毎年数台について新規設置または、更新に対し補助を行っております。近年の物価高騰により購入費も年々増大し地区の負担も大きくなっております。令和7年度においては、補助金の補助上限等の見直しを予定しています。

令和7年度は降雪前に社会福祉協議会と合同で、地区除雪組合との情報交換を実施し、その中で、地区、社会福祉協議会、町が情報を共有し、一緒に考える場を設けたと思います。

問② 町職員が除排雪作業に従事された。常日頃の職員と地域住民とのコミュニケーションが大切と考えるが。

答 町長 職員と町民のコミュニケーションの機

会が担当業務内外で、より多くあることが望ましいと考えております。

規模の小さい自治体です。職員が地区の一員として共同作業や消防団活動に参加したり、居住地域以外でも除雪ボランティアや伝統行事などに積極的に参加することは、コミュニケーション機能維持の観点からも重要です。

また、日常の挨拶や何気ない会話、ちょっとしたお手伝いなどはお互いの理解を深める意味でも大切なものだと考えております。

問③ 町の最大の課題である人材の確保が重要であるがどう取り組む考えか。

答 町長 除雪に限ってお答えします。地域全体での助け合い「出来る人が出来る範囲で関わる」と「が重要だと考えております。地域全体での助

け合いの仕組みができれば、高齢になっても安心してこの町に住み続けることができると思っています。

問④ 町民一人ひとりが、自分の範囲で「人のため」「地域のため」に小さな支え合いを呼びかけることを町に主導して欲しいが。

答 町長 ただ、支え合い、助け合いと言っても、抽象的で何をしたら良いかわかりづらく、呼びかけただけでは、人は集まらないと思います。除雪に協力してもらうためには、日頃から地域の活動に携わっていただけるような環境づくりを地域と町とが一体となって進めることが重要です。地区の清掃活動、花壇の手入れ、イベントへの参加など地区の活動に気軽に参加してもらうことで、自然と地域で助け合うこと

議員のひと言
「つながり・支え合い」のある町の実現を

横田議員からは、この他に「米不足・米価の高騰に対しての町長の思い」は「の質問がありました。

移住定住、空き家対策について

各種支援を行っているー町長



解体済の特定空き家(上横田地区)
写真は解体前特別委員会での現地視察
(平成29年5月)

問① 空き家改修補助、既存住宅改修補助、住宅取得事業補助、空き家家財道具等処分支援補助事業、移住支援金給付事業、若者移住応援事業と様々な支援策を講じており

ますが、各制度にはそれぞれ条件が定められています。空き家バンクや移住支援センターを設置移行、制度を利用し移住されたものの、支援制度の条件を満たせず町外へ転

出された件数について伺います。

答 町長 町の空き家バンク事業は平成29年度から、移住支援センターは令和4年度から始めた事業です。令和6年度までに空き家バンクを利用して移住された件数は17件、移住支援センターを利用して移住された方は15件です。そのうち7件は両方利用されています。

補助金等の支援制度を活用されたものの、補助制度等の要綱で定めた定住期間の満了前に町外転出された方は1件です。

問② 記録的な豪雪に見舞われた本年、空き家の除雪が滞り、地域住民の方々から不安の声も上がっております。除雪車も、家屋への損傷を避けるため細心の注意を払いながらの作業となりご苦労されたと思います。現時点で、特定空家の指定

についてどのようにお考えでしょうか。指定を行う上での課題や懸念点についての認識と今後の検討状況について伺います。

答 町長 特定空家等として指定するには、該当物件に関する各種調査を行い空家等対策協議会の意見を踏まえ町が決定します。指定されると町が「助言・指導」を行い、改善が見られない場合「勧告」を行うことになり、改善されない場合「命令」を行い、従わない場合所有者に過料が課せられます。命令後も改善されない場合諸手続きを踏んだ後、行政代執行に進む流れになります。

特定空家等が放置されると、倒壊などで周辺に保安上の危険性があるほか、衛生面・景観面での影響も懸念されます。一方、特定空家等への指定から行政代執行に進んだ

場合、解体に要した費用回収は困難が予想されること、公金で解体を行うことで倫理観の欠如を招く恐れがあることなどの課題があります。これらのことから、特定空家等の指定は慎重に行わなければならぬと考えておりますが、基本的には所有者自らの責任で適切に管理することが原則です。空き家が特定空家等にならないよう、所有者に対して適切な管理、空き家バンクの利用、解体などの町補助制度の活用などを引き続き呼びかけて参ります。

場合、解体に要した費用回収は困難が予想されること、公金で解体を行うことで倫理観の欠如を招く恐れがあることなどの課題があります。これらのことから、特定空家等の指定は慎重に行わなければならぬと考えておりますが、基本的には所有者自らの責任で適切に管理することが原則です。

行政としては、田舎ならではの不安の解消を図るため「医療」「教育」「交通」「交流」など様々な分野で、生活をサポートして行きます。具体的には、子育てに関しては、既存の様々な支援を継続して実施します。保健師については、きめ細やかな訪問で、妊娠期から出産、その後の子育ての不安に寄り添っていきたいと考えています。

問③ 移住・定住を検討される方々にとって、子育て支援は重要な判断基準の一つであると考えられます。田舎での子育てに関する不安は、多くの親御さんが抱える共通の悩みです。この課題についてどのようなお考え

議員のひと言
子育てしやすい町にした

をお持ちか伺います。

答 町長 田舎での子育てをする中で特に心配されることは、小児科や産婦人科などの医療機関が近くにないこと。小規模な学校では、競争心が生まれにくいこと。地域コミュニティへの適応不安。雪に対する不安などがあるかと思えます。

行政としては、田舎ならではの不安の解消を図るため「医療」「教育」「交通」「交流」など様々な分野で、生活をサポートして行きます。具体的には、子育てに関しては、既存の様々な支援を継続して実施します。保健師については、きめ細やかな訪問で、妊娠期から出産、その後の子育ての不安に寄り添っていきたいと考えています。

問で、妊娠期から出産、その後の子育ての不安に寄り添っていきたいと考えています。



英知を結集し課題の解決を

「人口戦略会議」が2020年から2050年の30年間に若年女性が50%以上減少し、県内で消滅する可能性がある33の自治体を公表しましたが、それによると金山町は33の自治体の中で消滅する可能性が高い方です。確かに金山町は30の行政区の集合体ですが、小学校に入学する児童数を見ても金山町の現状を危惧する町民が多いことは事実です。

私たちはこの2つの課題を克服し、先祖代々苦勞と努力を重ね築かれたふる里を守り抜くために、若者が定住し、生活できるだけの仕事場の創出が急務であると考えます。それには今こそ英知を結集し、現実を変えることだと思っています。

人間社会は、有為転変であるが、社会の生成発展は、一人の知恵には限りがあり「大衆こそ大知」であることを認識し、ややもすると自分と同じ個性の人を求め、異質の人を排除する傾向があると言われますが、英知を結集するには、いろいろ違った考え方があろう人々を尊重することだと思います。現実を変え、課題を解決するためには、違いを尊重し、謙虚に話し合いをすれば、結果として新しい高度な知恵が生まれてくると信じています。

「為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」

「不可能という語は只愚人の辞書にある」このことを信じ、みんなが知恵を出し合い課題の解決に努力したいと思っています。

(横田 正敏)

金山協力会との意見交換会

2月28日、役場委員室において町内の建設会社5社で組織している金山協力会と意見交換会を実施しました。

今冬の豪雪時の除雪対策、道路除雪・小規模工事・働き方改革・予算の確保・建設業界の未来等について、町外2社を含め7社の会社関係者から貴重なご意見を伺うことができました。



意見交換の様子

ごあんない

次回の定例会は、6月13日頃開会予定です。
一般質問は6月16日頃となります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井義一

〔編集委員〕 委員長 横田 正敏
副委員長 安藤 雅朗
委員 坂内 一樹
大竹 一樹

次回、金山町議会だより第230号は、8月上旬頃発行予定です。